

立命館アジア太平洋大学
国内学生後援会の皆様へ

出入国在留管理庁における「適正校」の非選定について

2026年3月31日
立命館アジア太平洋大学
学長 米山 裕

国内学生後援会の皆様、日頃より立命館アジア太平洋大学の教育・研究活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、大学の[公式ホームページ](#)でご報告をさせていただいたとおり、本学の留学生の入国手続きに関わる件により、学生の皆さまならびに保護者・関係者の皆様にご心配をおかけしておりますこと、大学を代表して深くお詫び申し上げます。

本学は開学以来、世界170ヶ国・地域から学生を受け入れ、多文化・多国籍環境の中で学び合う教育を大切にまいりました。国内学生の皆様にとっても、このような環境の中で異なる価値観や文化に触れながら学ぶことは、本学の大きな特徴であり、学びの重要な機会であると認識しております。

今回の件により、一部の留学生の入国に遅れが生じる可能性はありますが、本学にはこれまでと変わらず、高い志をもった100以上の国・地域からの学生が在籍しており、多文化・多国籍環境のもとでの学びが損なわれるものではありません。また、入国に遅れが生じる学生に対しては、オンライン授業の提供などを含め、大学での生活と学習に円滑に入ることができるよう丁寧にサポートを行ってまいります。

本件は法定手続きにおける事務上の不備によるものであり、新入生の到着が遅れるという事態に至ったことは大学として深く受け止め、猛省しております。大学としましては、本件発生後に調査委員会を設置し、調査委員会からの提言を受けて、大学としての改善計画を策定しております。なお本改善計画書については関係省庁に提出させていただき、ご理解をいただいております。今後は、再発防止に向けて確認体制および業務プロセスの見直しを徹底し、同様の事案が二度と発生しないよう努めてまいります。

改めまして、このたびの件によりご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。本学は今後も、多文化・多国籍環境の中で学生が互いに学び合い、成長できる教育・研究環境を維持・向上させてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上